



平成30年10月15日

各 位

会 社 名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス  
 代表者名 代表取締役CEO 吉村 元久  
 (コード: 2884、東証第一部)  
 問合せ先 取 締 役CFO 安東 俊  
 (TEL. 03-6206-1271)

平成31年2月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異  
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成30年4月13日に公表しました平成31年2月期第2四半期連結累計期間(平成30年3月1日～平成30年8月31日)の業績予想値と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成31年2月期通期(平成30年3月1日～平成31年2月28日)の通期業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成31年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異  
 (平成30年3月1日～平成30年8月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 連結四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,686	259	276	161	7.40
今回修正予想 (B)	11,438	158	201	131	6.01
増減額 (B - A)	△248	△100	△75	△30	
増減率 ( % )	△2.1	△38.8	△27.1	△18.7	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成30年2月期第2四半期)	9,935	352	389	331	15.17

※ 当社は、平成30年2月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割をおこなっております。上記では、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

2. 平成31年2月期連結業績予想数値の修正 (平成30年3月1日～平成31年2月28日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する純利益	1株当たり 連結純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,278	555	580	363	16.63
今回修正予想 (B)	23,954	329	384	229	10.49
増減額 (B - A)	675	△225	△196	△133	
増減率 ( % )	2.9	△40.6	△33.8	△36.8	
(ご参考) 前期実績 (平成30年2月期)	20,035	494	554	419	19.19

### 3. 第2四半期連結業績予想修正の理由

平成31年2月期第2四半期連結業績予想につきましては、売上高は、製造事業において主力製品等の販売が予定を下回ったため、前回予想値を下回る結果となりました。

営業利益につきましては、主要子会社である楽陽食品株式会社において、主力製品であるチルドシウマイの値上げ対応による売上の減少、前期からのチルド餃子受注増対応による工場間移送の継続による経費の増加およびチルド餃子生産ラインフル稼働（24時間対応）に伴い、チルドシウマイ等の生産ラインの休止時間が増えるなど生産体制にアンバランスな状況が続いており、関連する費用が増加いたしました。また、チルド餃子アイテムの増加に伴うライン切り替え対応が増えたことで生産性が低下し原価率が上昇しており、これらによる営業利益への影響額が約70百万円に達しました。加えて8月のM&Aによる取得費用が約15百万円で発生したことにより、前回予想を下回る結果となりました。

経常利益、当期純利益につきましても、営業利益と同様の理由によるものであります。

### 4. 通期連結業績予想修正の理由

平成31年2月期通期の連結業績予想につきましては、売上高は、第2四半期連結累計期間までの業績修正理由による減少を見込んでおりますが、M&Aにより当期より増加した企業の売上が上乘せされることにより、前回予想値を上回る見込みであります。

営業利益につきましては、第2四半期連結累計期間までの業績修正理由によるもの、楽陽食品株式会社において新工場立ち上げによるコストの増加および各社の収益動向を勘案し、前回予想を下回る見込みであります。

経常利益、当期純利益につきましても、営業利益と同様の理由によるものであります。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上